

### 3) 分娩のための入院時の状況

平成 ■年 ■月 ■日(月)(妊娠 35 週 4 日)

13:00 妊産婦より当該分娩機関へ電話連絡あり

「10 時頃より生理痛様の痛みと少量の出血あり。痛みが徐々に増強したため電話した」

[助産師]早産の恐れあり受診するよう指示

14:00 当該分娩機関の外来を受診

ドップラ法で胎児心拍 120 拍/分、内診で子宮口開大 2cm、展退 30%、児頭の位置-2cm、性器出血あり、2-3 分間欠の痛みを伴う子宮収縮あり  
常位胎盤早期剥離の疑いで入院決定

### 4) 分娩経過

14:20 分娩監視装置装着

陣痛間欠 2 分、胎児心拍数基線 120 拍/分、基線細変動減少、高度遅発一過性徐脈の反復を認め、胎児機能不全と診断、超音波断層法で胎盤肥厚を認め常位胎盤早期剥離と診断、帝王切開決定

14:35 帝王切開について妊産婦本人に口頭で説明し同意を得た

14:40 手術室入室

14:45(胎児心拍数陣痛図の印字時刻) 分娩監視装置終了

14:49 脊椎麻酔し帝王切開開始

14:55 児娩出、頭位

胎児付属物所見:肉眼的に胎盤母体面の 50%に凝血塊